


教科	理科	(教材名)野菜や果物で電池をつくろう！
		
目的	野菜や果物で電池ができる驚きを感じながら、電池の原理を学ぶ。	
準備物	野菜(だいこん、じゃがいも、にんじん、など)、果物(りんご、オレンジなど) 電極用金属板(銅版、亜鉛)、導線、モーター、電子オルゴール	
取り組み内容	<p>① 野菜(スライスしてもよい)に金属板を刺し、導線でモーターや電子オルゴールとつないでモーターが回るか、電子オルゴールが鳴るかを調べ、電流が流れることを確かめる。</p> <p>② 野菜・果物の数を2個、3個・・・と増やして直列につなぎ、モーターの回る速さや電子オルゴールの音量のを比べて、電流の大きさが大きくなることを確かめる。</p> <p>③ 電極に異なる種類の金属を使ったことにもふれ、電池の原理を理解する。</p>	